

関西支部&W会共催「第10回合同研究会」の報告

開催日時：7月22日(月) 17:00~18:50

開催会場：大阪市立総合生涯学習センター第4研修室

- ・合同研究会も10年目に入り、30名の方に参加していただき、盛況裡に開催できました。
- ・フタムラ化学(株)花市講師からは「生分解性バイオマスフィルム“Nature Flex”の環境適性と包装材への応用」のテーマで、“NatureFlex”は木材から成る「透明な紙」セロハンをベースとしたフィルムでプラスチックが現れる前からある素材です。この古くて新しい技術を環境問題と絡め、海外(欧州)採用事例をまじえながらご紹介いただきました。
- ・日本製紙(株)内村講師からは「紙でできることは紙で」パッケージ業界動向と持続可能なパッケージ素材開発について～」のテーマで、昨今の環境問題に対するパッケージ業界の最新動向に加え“紙でできることは紙で”という理念に基づいた紙製バリア素材“シールドプラス”を中心に日本製紙様が描くパッケージ将来像についてご紹介いただきました。
- ・両テーマとも参加者から活発な質問が飛び交い、交流会場に場所を移しても両講師を囲んで情報交換などで大いに盛り上がりました。

◆フタムラ(株)花市講師



◆花市講師講演風景



◆日本製紙(株)内村講師



◆内村講師講演風景



◆セミナー会場



◆交流会場(交流会参加の皆様)

